

## 知って得する『福を呼ぶ干支・午(馬)』の話



・「今年の干支・午」新しい年に知っておきたい、ちよつといい話

馬は、昔から人の暮らしに寄り添ってきた動物です。神社の絵馬や縁起物としても親しまれ、

「前に進む」「物事がうまく回る」象徴とされてきました。

でも実は、あまり知られていない馬の一面もたくさんあります。

・馬は、ずっと走り続ける動物ではありません

速く走るイメージのある馬ですが、実際は、

「よく休み、よく歩く動物。走る↓歩く↓止まる」この切り替えがとても上手です。だからこそ、長い距離を進み続けることができます。速さより、「続けられること」を大切にしている。そんな生き方です。

・実は、馬はとても繊細



大きな体に反して、馬は音や空気の変化にとっても敏感。無理に急かされたり、強く引っぱられたりすると、動かなくなることもあります。でも、安心できると自分から前に進みます。

急かさない方が、うまく進むこともある。これは、人の暮らしにも少し似ていますね。

・「左馬」は、縁起がいい？

将棋の駒で知られる「左馬（ひだりうま）」は。実はこれも馬の縁起話のひとつ。馬は本来、前に進む象徴ですが、左馬は「うま」が逆から読めて「まう（舞う）」につながり、商売繁盛や福を呼ぶといわれています。前に進むだけでなく、楽しむことも大切です。

新しい年の始まり。つい気合を入れすぎてしまう時期ですが、少し肩の力を抜いても大丈夫。ゆっくりでも、止まる日があっても、また前に進めば、それでいい。そんな馬の生き方も、新年のちいさな縁起担ぎかもしれません。

令和八年 新年のご挨拶



旧年中は各寺院様、神社様をはじめ皆様におかれましては、多岐にわたり公私共に格別のご厚情を賜り、心より礼申し上げます。

また、広報誌「心ゆたかに」を皆

様にお届けするようになり、本年で三十周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、長きにわたり支えてくださった皆様とのご縁の賜物であり、深く感謝申し上げます。本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

社員一同力を合わせ、より良い建物とサービスをご提供できるよう日々努めるとともに、社員研修など学びの場を大切に、更なる成長を目指す飛躍の年にしていきたいと思います。

お客様それぞれの歴史の中に「天峰建設」という名が残っていくことへの責任と誇りを胸に、

「天峰建設で建ててよかった」

と心から喜んでいただけるよう、社員一同、協力して取り組んでまいります。

これまでの良縁を何より大切に、これからのご縁を愉しみながら、人をつくり、人を残せる、より良い会社づくりに一層精進してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 澤元 薫

